

「積女 ASSAL かんさい」 便り

2018.7.6

日本建築積算協会 関西支部 副支部長 北野 正美



「積女 ASSAL かんさい」が2016年12月に発足して2年目となりました。去年1年間やってきて、いろいろ課題が見えてきました。

- ただ集まるだけでは飽きてくる。
- 難しい課題をあげると、取り組みにくい。
- 成果を求めると、上辺だけになってしまう。

今年度はメンバーの皆様アンケートを取りました。何がしたいのか？ どのようなものが役に立つのか？ どんな風な進め方がいいのか？

その結果、①現場見学会、②ミニ講習会・工場見学会・フラワーアレンジメント、③外部講師による講習会、というものが上がって来ました。

今年度は現場見学会を中心に進めて行くことにします。とは言え相手のあることで、なかなか思うように予定が取れませんでした。ようやく1件の目処が立ち更にもう1件交渉中です。

いい報告ができるまでもう少しお待ちください。

更に嬉しい報告があります。

このたび新規参加メンバーが7名増え、「積女 ASSAL かんさい」は活気にあふれています。

No.	参加者氏名	備考	No.	参加者氏名	備考
1	木場さん	新規	9	中道さん	
2	小崎さん		10	野田さん	新規
3	小原さん	新規	11	松原さん	
4	小林さん	新規	12	南野さん	新規
5	佐々木さん		13	村上さん	
6	品田さん		14	吉田さん	新規
7	杉本さん		15	井関さん	
8	杉山さん	新規			

※ ■ は新規参加者。記載は50音順。



「積女 ASSAL」の活動が新聞に取り上げられ、「積女 ASSAL だより」として日刊建設工業新聞にシリーズでメンバーの方の記事が掲載されていましたが、今年度から「積女 ASSAL かんさい」のメンバーの記事掲載が始まりました。

6月8日に品田さんの記事が掲載され、7月6日に村上さんの記事が掲載されました。

次回は小崎さんの予定です。(期日未定です)



前回時間切れで出来なかった「ミニ講習会」は、6月18日に「大阪北部地震」が発生してブロック塀の倒壊事故があったため、急遽話題を変更し「コンクリートブロックの耐震について考える」と題し、コンクリートブロックについて様々な調査の発表を行ないました。

- 現地はどのような状況であったか、
- コンクリートブロックの歴史・種類・形状・寸法、基礎形状と根入・積上高さ
- 法的にはどのように規定されているのか



新規参加メンバーが入ったセミナーは、どうしても口数が少なくなりがち。そこでケーキタイム。今回もケーキを食べて、お茶を飲んで、おしゃべりをして、非常に盛り上がり、場が和んでいきました。



最新の現場の、生産性改革の動きについて、労働者不足や高齢化問題で外国人労働者の受入の動きもありますが、前向きに対応しようとしているロボット改革について説明しました。(ゼネコン各社がすでに取り入れている建設関連ロボット)



皆さん興味津々で、聞き入っていました。



今年の秋口に予定している現場見学会について説明しました。

地下1階・地上24階のホテルの現場。

全天候型次世代ロボットによる施工。建設こまち(女性)が勤務。もう1件現場見学を設定したい。



一時的な「はやり」で終わらせてはいけない。

何のためにするのか!

でも、たまには無駄なこともいい!

